

青年研修 「アフガニスタン/農村振興」

対象国 : アフガニスタン
受入人数: 11名
受入期間: 2019年6月25日～2019年7月13日



アジア地域の西側に位置するアフガニスタンでは、人口の8割が農業に従事しています。しかし、30年以上の戦乱の影響により、灌漑システム等の基盤整備が破壊されたり、行政サービスが十分に行き届いていないこともあり、農村・農業の発展には多くの課題が残されています。

本研修では、首都カブール及び地方自治体の行政官11名が来日し、農業王国・北海道の経験や知識を学ぶことにより、農業を基礎とした農村振興のアイデアを得ることを目的として、19日間の研修を実施しました。

研修員は、行政、試験研究機関、普及センター、教育機関、農業協同組合等が連携して農業者を支援する日本の体制を学び、バイタリティ溢れる農業者が安全・安心で美味しい農産物を生産する現場を視察し、アフガニスタンの農村のために何ができるかを検討しました。



帯広市農業技術センターの展示圃場で、十勝の主要な農作物を視察しました。



農産物の保存性を高め、付加価値をつけて販売するために、ジャムのつくり方を学びました。



美味しいリンゴを育てるために必要な剪定や施肥について学びました。



農業者の立場になってアフガニスタンの課題を分析し、その解決方法を討論しました。